

いわぬまアシスト



須藤 功

市長の施政方針

問 施政方針で「強制的に放送する防災ラジオを配布する」ことが明記されている。これはどのようなラジオなのか。

防災課長 市から発信する災害情報 エフエム放送局に割り込ませると、防災ラジオは自動的に電源が入り、災害情報を受信することができます。

問 各世帯全部に配布するような表現だと思う。表現が紛らわしいのではないか。

防災課長 広報などで希望者を募り、防災ラジオが欲しい方があれば、有償が無償で配布することを検討したいと考えます。

問 施政方針で「地域の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら側溝の清掃などを行ってまいります」とある。市が主体のように書かれているのではないか、これまでも方針が変わったのか。

建設部長 これまでと変わっていません。側溝清掃については、町内会や地域住民が、可能なところについてはご協力をお願いし、ま

た交通量の多い幹線道路や断面の多い水路、横断暗渠など地域での清掃が困難な場所は、市で行うことにしています。

問 地域の皆さまの協力とは誰を想定しているのか。

千載一遇のチャンスで

建設部長 生活道路の側溝清掃については、町内会や地域住民の皆さまに土砂上げなどの清掃を行っていただくということですが。

道路新設改良(単独)事業

問 (岩沼北部圃場整備に関する)市道朝日2号線の改良内容について、地元からどのような要望内容があったのか。

建設部長 現況道路の幅員が2.7㍍と狭いので、車が交互通行できるように拡幅の要望が出ています。

問 圃場整備の実施設計では、圃場整備協議会からの要望が出ているにもかかわらず(計画は)4㍍の砂利道です。圃場整備を行う千載一遇のチャンスなのに、4㍍

どうか。

建設部長 生活道路としての位置付けで考えていますので、現時点で延伸して直接交差とは考えていません。

問 市道朝日2号線は、土地区画

整理した土地から田面まで1㍍もある。今の道路の現況高で道路整備しても、(水害で)越流し通行止めになる。かさ上げできないか。

土木課長 極端な形で上げるのは相当困難と思いますが、現在の高さよりもある程度上げられますので、圃場整備側とよく協議しながら最終的に高さを決めていきたいと考えます。

その他の一般質問

・朝日竹の里線道路改良事業

会派所属議員

植田美枝子、須藤 功、大友 健

